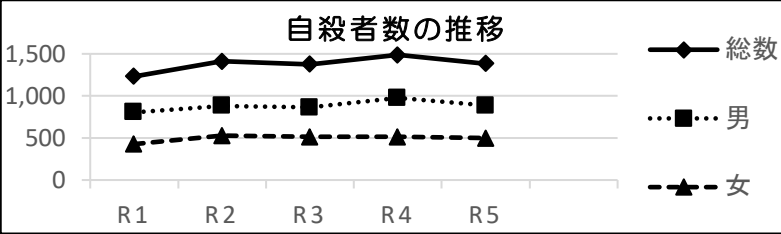


大阪府の自殺の状況(令和元年から令和5年)

資料1-2

	総数	男	女
R1	1,231	804	427
R2	1,409	881	528
R3	1,376	864	512
R4	1,488	976	512
R5	1,383	887	496



【自殺者数の傾向】

○令和5年の自殺者数は前年と比べて減少。(全国も同様) 前年より105人減の1,383人であった。
○男性は89人減少(対前年増減率-9.1%)、女性は16人減少(対前年増減率-3.1%)。
→令和5年は前年より減少したが令和3年よりも多く高止まっている。

【自殺者の傾向・年代別】

○男性は「30～39歳」のみ前年から増加、それ以外の年代では減少した。
○女性は「20～29歳」「50～59歳」「60～69歳」「80歳以上」で増加、それ以外の年代では減少した。
→39歳以下の自殺者が全体の27.4%を占めている。

【自殺者の傾向・職業別】

○令和4年1月から集計方法が変わり「自営業・家族従業者」と「被雇用者・勤め人」を合わせて、新たに「有職者」という項目ができた。
○男性の最多は「有職者」(354人)「年金・雇用保険等生活者」(313人)、女性は「年金・雇用保険等生活者」(191人)、「有職者」(141人)の順に多くなっている。
また、女性の「失業者」(32人)が前年(21人)より大きく増加している。
→失業者が大きく増加した。不詳も前年より16人(320%)増加した。
○「学生・生徒等」については男性が前年より13人(28.3%)減少した。女性も前年より11人(37.9%)減少した。

【自殺者の傾向・原因・動機】

○健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題の順となっている。

